

お金を貯める ② どうしてお金を預けるの？ (20分)

【ねらい】 ■ 銀行にお金を預けることを「預金」ということを知る。

■ 「預金」は、安全・便利・お得であることを理解し、適切に活用することができるようになる。

【評価のポイント】

■ 預金の「安全」「便利」「お得」について理解し、自分の言葉で説明することができる。

項目時間	授業内容	使用教材など
導入	0:00 ● 授業のねらいを知る みなさんは、銀行や郵便局にお金を預けていますか？ 世の中の多くの人が、銀行に自分の預金口座を持っていて、お金を預けているそうです。今日は、「銀行にお金を預けること」について、考えてみましょう。	(準備) ■ 進行スライド ■ ワークシート ■ 資料集 (必要に応じて)
	1:00 ● 導入まんが「安全・便利・お得な預金」 スライド2 ある日の放課後。あゆむ「ゆめこちゃんって、お金貯めてる？」、ゆめこ「うん、貯めてるよ。高校生になるとき、新しい時計が欲しいから。」あゆむ「貯金箱に貯めてるの？」、ゆめこ「それもあるけど、使わないように銀行に預けてるの。」 スライド3 あゆむ「銀行に？」、ゆめこ「そうよ、銀行に私の口座を作ってもらったの。銀行に預けると、安全・便利・お得なんだよね・・・」。説明を続けるゆめこを横に、安全・便利・お得の意味が分かっていない、あゆむであった。	■ 導入まんが スライド2,3 「安全・便利・お得な預金」
展開	3:00 ● 班WORK まんがの中でゆめこちゃんは、銀行にお金を預けると「安全・便利・お得」と言っていましたね。では、「安全・便利・お得」とは、それぞれどのようなことだと思いますか？ 班で話し合って「安全」「便利」「お得」の内容をワークシートに書き出してみましょう。	スライド4 ■ ワークシート
	8:00 WORKの確認 (発表→板書→共有) みなさんのお金を預かり、安全に保管して、みなさんが必要なときにお金を引き出せるようにする銀行の業務を「預金」といいます。 「安全」：盗まれたり、置いた場所を忘れてしまったり お金を預けた銀行が破たん (破産) しても、一定額は守られる 「便利」：銀行の窓口やATM※で現金を引き出すことができる 口座から、公共料金 (ガス・水道代) やクレジットカードの自動支払いができる 通帳などで取引記録を見ることができるので、家計簿代わりになる 「お得」：銀行に一定期間預けると「利息」がつく ※Automated Teller Machine (現金自動預払機)	発表内容板書 スライド5
	15:00 ● 個人WORK みなさん (未成年※) でも、銀行口座を開くことができます。 その際、次のものが必要となります。ワークシートにも書いておきましょう。 ・保護者の本人確認書類 ・子どもの本人確認書類 ・届出印 本人確認書類とは、運転免許証、パスポート、健康保険証、マイナンバーカードなど、名前、生年月日、住所などが確認できる書類のことです。 銀行によって、手続きが違ってくるので、口座を開きたい銀行に確認することが必要です。 ※2022年4月から成年年齢は20歳から18歳に引き下げられ、17歳までが未成年となります。	スライド6 ■ ワークシート
まとめ	18:00 ● まとめ 銀行にお金を預けることを「預金」といい、「安全・便利・お得」な仕組みです。 未成年でも銀行口座を持つことができるので、自分の銀行口座を持っていない人は、今回学んだことをふまえて、口座を持つことを検討してみても良いかもしれません。	スライド7

■ 補足スライド 「銀行の役割」は、社会の豊かさを支えること

自分たちが預けたお金が、経済社会の中でどのように役立っているのか確認できます。

■ 補足スライド 「利息」は「お金のレンタル料」

貸し出したお金より多く返してもらうことにより、お金を預けた人にその一部を渡している (利息) 仕組みを確認できます。

■ 補足スライド 「利息」について

「単利」と「複利」の仕組みについて確認できます。

■ 補足スライド 「72の法則」

お金が2倍になる期間が簡単にわかる計算式「72の法則」について確認できます。

■ 補足スライド 「預金保険制度」について

預金保険制度の内容について確認できます。